

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 11 月 23 日 (15 : 30 ~ 16 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 林、千原、呉、新谷、窪田、朝稲、クアン、スアン

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	5 人	人	人	7 人

前回の改善計画	介護サマリーと事前聞き取り用紙を活用し情報を漏れなく収集、共有する。 利用開始前のミーティングの活用する。
前回の改善計画に対する取組み結果	申し送り、情報収集はおおむね出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	5	1		7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	6			7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?	2	5			7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	6			7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 新規の利用者様や退院された方のサマリーなどは必ず目を通すようにしている。 ミーティング等を通じて共有することにより、本人の生活への配慮が求められる。業務の一貫化ができると思う。そしてよりよい介護を提供できるよう努められる。できるだけ、利用者様と向き合う、情報や会話を行っている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 基本情報だけではわからず、本人にあった気遣いができなかった。 緊急ショート時の利用者の情報収集は難しかった場合がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 介護サマリーと事前聞き取り用紙を活用する。 利用当初は、本人も不安を抱えています。本人が困っている事や不安な事を受け止め、「通い」や「訪問」等の場面で、本人への気遣いや配慮、スムーズに他の利用者との会話に繋がるような「つなぎ」を積極的に支援する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 11月 23日 (15:30~16:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 林、千原、呉、新谷、窪田、朝稲、クアン、スアン

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	3人	人	7人

前回の改善計画	スタッフ一人ひとりが利用者様個人目標理解する。 目標実現へ向けた話し合いの場を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	意欲が引き出せない方に対しての支援は活かされない場面があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	6			7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	5	1		7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	4	2		7
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	5	1		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人の意欲が引き出せるよう声掛けや傾聴を心掛けている。本人の状態に応じて、スタッフ間で話し合い、必要性があるサービスを検討する。 利用者様に接しながら話を聴き、ケアプランの確認支援を考える。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 本人の意欲が引き出せないこと、目標を乱すことができない。 全ての利用者様の長期・短期目標を把握していない。利用者様との会話の中で不明なことが多い。 たまに、目標している事を忘れてしまう。おろそかになっている時がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ケアプラン回覧の徹底と目標とすることを理解し支援に活かしていく。 認知症や障害により、自らの意思を表現できない方についても支援の目標を明確する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 11 月 23 日 (15 : 30 ~ 16 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 林、千原、呉、新谷、窪田、朝稲、クアン、スアン

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	3 人	人	人	7 人

前回の改善計画
利用者様の意識的な会話の中から以前暮らしを知る。 バイタルサインや食欲、排泄に関する情報の共有強化。
前回の改善計画に対する取組み結果
体調管理や変化に対しての対応はできていた。 「変化」にきづくためには、日々のかかわりや介護記録の記載は出来ていなかった場合がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	1	4	2		7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	2			7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	6			7
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	2			7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	6			7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	利用者様の体調の変化や訴えなど見守り共有し、チェックできている。 情報やニーズについて明瞭に記載し、スタッフ間で共有できる。そして、本人の状態にあった介護を行っている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	以前の暮らしなど会話できない方や聞きにくい方にはできていません。 現状の対応を優先させていたので、以前の暮らし方を把握できない。 利用者様以前の暮らし方 10 個以上は把握していない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	「以前の暮らし方」が 10 個以上把握する。 「変化」にきづくためには、日々のかかわりや介護記録を記載する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 11 月 23 日 (15 : 30 ~ 16 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 林、千原、呉、新谷、窪田、朝稲、クアン、スアン

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	5 人	人	人	7 人

前回の改善計画	訪問サービスの強化。 訪問サービスを通じその人自宅で過ごす時様子を知る。その人が地域でどのような役割があるのかを探る。
前回の改善計画に対する取組み結果	訪問サービスは需要に応じておおむね出来た。地域との関わりの支援はできず課題が残った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	5			7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	4	2		7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	5	1		7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	5		7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 訪問時利用者様の気持ちやお話をきちんと聞く事が出来ている。 本人に寄り添い、情報や要望をもとに、スタッフ間で共有し、必要なニーズの見極めを行い、支援を行なう。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 本人の状態により意思疎通が困難であり、家族介護者などがなく、情報が少ない場合に本人が必要とする支援は問題を生じると思う。 訪問サービスが担当しないので、どのように過ごしているのは完全には把握できていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 地域の資源を把握しながら、今までの暮らしを継続的に支援する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 12 日 (15 : 30 ~ 16 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 毛利、林、松岡、千原、杉原、新谷
高崎、朝稲、クアン、中島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	3 人	人	人	7 人

前回の改善計画	コロナ禍での地域資源の活用。ミーティングを使ってご利用者様の変化について情報共有し泊まり通い訪問のサービスを適切に提供していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者様の状態やニーズに合わせて支援はおおむね出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		7			7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	4			7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	4			7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	6			7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 医療機関へ迅速な対応など利用者様にとって良かれと思う事は出来ている。 泊まり通い訪問のサービスは適切に提供出来ている。 コロナもあり、大変な時でしたが利用者様・ご家族様・スタッフに支えられ、皆で乗り切れたと思います。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ミーティングができなかった時、情報共有する。 通い方は訪問に変更する対応がノータッチの人もある。 記録により受け止め方が現実とズレがある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) コロナ禍での地域資源の有効に活用。 利用者ニーズに合わせて柔軟的な対応していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 12 日 (15 : 30 ~ 16 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 毛利、林、松岡、千原、杉原、新谷
高崎、朝稲、クアン、中島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4 人	1 人	2 人	7 人

前回の改善計画	コロナ禍での地域との交流が課題である。地域での会議について情報を集め積極的に参加する地域の型にも来所して頂く機会をもつ。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍の感染予防の為地域会議の開催ができなかった。また、地域の方の来所も中止しています。食器洗い片づけのボランティアの方には来所して頂くことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		5	1	1	7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?			3	4	7
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?			3	4	7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?			2	5	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 医療機関との情報交換 福祉用具との情報交換
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域交流機関との関わりが無い。 登録者以外の高齢者、近所の保育所の園児達との交流。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 地域の各種機関の活動やイベントに参加する
---------------	-----------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 1月 12日 (15:30~16:30)

7. 運営

メンバー 毛利、林、松岡、千原、杉原、新谷
高崎、朝稲、クアン、中島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	6人	人	人	7人

前回の改善計画	参加可能な研修には感染予防を徹底し参加を呼びかける。 苦情には誠実に対応記録に必ず残すようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	苦情に対応記録はおおむね出来た。 感染予防研修は出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		5	2		7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6			7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6			7
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		1	5	1	7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者・家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映出来ている。 いろいろな意見は言う事が出来ている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域と協働した取組みが出来ていなかった。 地域の方とは日頃より関係性を持ちにくいと思うから。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域と協働した取組みができるようにする。
---------------	----------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 12 日 (15 : 30 ~ 16 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 毛利、林、松岡、千原、杉原、新谷、高崎、朝稲、クアン、中島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5 人	1 人	1 人	7 人

前回の改善計画
小規模多機能連絡会はリモート開催なのでできるだけ多くの職員に参加してもらおう。 ヒヤリハットの提出が増えるようミーティングの時間等を活用し呼び掛けていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
ヒヤリハットの介護記録を残すはおおむね出来た。 職場外の研修は出来ていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		4	2	1	7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	1	2	3	7
③	地域連絡会に参加していますか	1		2	4	7
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		2	1	1	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	小規模多機能連絡会に参加できた。資格取得はができた (介護福祉士) ヒヤリハット・事故報告などの伝達の提出は以前より増えてきていると思われる。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	コロナ感染予防の為、小規模多機能連絡会に参加していなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	研修 (職場内・職場外) は多くの職員に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 1月12日 (15:30~16:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 毛利、林、松岡、千原、杉原、新谷、高崎、朝稲、クアン、中島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	4人	2人	人	7人

前回の改善計画	安全とプライバシーの両立について話し合える機会を設ける。 成年後見制度について勉強会を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	安全とプライバシー保護はおおむね出来た。 成年後見制度についての理解は不十分でした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6	1			7
②	虐待は行われていない	6	1			7
③	プライバシーが守られている	5	2			7
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	3		1	7
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	2	1		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 身体拘束や虐待などは勉強や以前のミーティングで確認出来ている。 既に退所はされたが成年後見制度は活用できた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 成年後見制度についての勉強会は行われていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 成年後見制度についての勉強会を行う。 定期的に虐待予防とプライバシー保護の勉強会を行う。
---------------	---

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 SNOW PLUM	代表者	毛利友紀
事業所名	PLUMの里	管理者	林 建川

法人・事業所の特徴

介護保険事業として訪問介護、通所介護、居宅介護支援事業所を併設。独自事業として介護タクシー、再度山には民泊施設 神戸一里山別邸を展開。自社厨房で調理した手作りの食事、地域の方との交流、外出活動を通し心身の健康が図られるよう取り組みんでいる。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	人	人	人	1人	人	8人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	改善計画を4月のミーティングで共有する。	改善計画については皆で取り組んでいる事が分かった。	コロナ感染予防の為、運営推進会議が中止となり推進委員の方との意見交換はできなかつた。 ※郵送にて外部評価をいただいた。	引き続き、改善計画内容を全スタッフが分かりやすい場所に掲示する。年間を通し定期的に取り組む事に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	コロナ禍に対応したしつらえ、設備で感染予防に努める。	テーブルにパーテーションを設置し、食事介助時フェイスシールドの装着を徹底している。		季節壁面の飾りを作り、施設内も季節感を感じられるようにする。
C. 事業所と地域のかかわり	地域との関わりを途切れさせない為にはどうすれば良いのか他事業所ともリモートを活用した会議等を用いて情報収集する。	リモート会議は行えなかつた。ホームページの活用はできている。		ホームページ活用を継続する。地域の掲示板を利用しながら近隣の方との関わりを増やせる。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取り組み	感染予防しつつできる範囲でイベントの開催をする。	一里山の広場を利用しながら地域の方との交流ができた。感染予防の為、近隣の保育所の園児との交流は出来ていなかった。		感染対策をしながら、外出機会を増やせる。地域のイベントも積極的に参加する。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	コロナ禍の中、運営推進会議を行う事が課題となっている。	コロナ感染予防の為運営推進会議は行えなかつた。		コロナ禍の中、運営推進会議を行う事が課題となっている。
F. 事業所の防災・災害対策	振り返りで出た意見を基に自衛消防訓練をさらに改善していく。	会社全体で自衛消防訓練が行えた。役割分担を明確化で分かりやすかつた。		地域の方にも自衛消防訓練の参加できる体制を作る。